

令和4年度事務事業評価(令和4年7月補正予算に係る事前評価)一覧表

| 番号 | 整理番号 | 部局 | 事業担当課 | 個別施策 | 事務事業名 | 新規/拡大 | 会議評価 | | | |
|----|-------|-------|---------|------|-----------------------------------|-------|------|---------|--|---|
| | | | | | | | 評価結果 | 区分 | 評価理由 | 評価会議における主な意見 |
| 1 | 20001 | 秘書広報部 | 広報広聴課 | H1-1 | 新市庁舎大型ディスプレイ整備費 | 新規 | 採択 | 所管案のとおり | <p>新市庁舎2階の正面玄関側2階に大型ディスプレイを設置し、来庁者や新市庁舎前広場利用者等に対し、長崎の主要な話題や新型コロナウイルス等の情報を迅速かつ効果的に発信するものである。</p> <p>本事業の実施により、より多くの市民が主要な市政情報を入力できるようになることで、まち全体の賑わいの創出等につながることから、事業の実施は適当である。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・音声についても常設できないか検討すること。(運用上はイベントや防災情報など必要に応じて音声を出すようにする) ・臨時交付金を活用するにあたり、コロナ対応として説明できるようにしておくこと。 ・今後の運用にあたり、広告収入の実施を検討するとともに映像コンテンツの作成等を外部委託できないか検討すること。 |
| 2 | 24001 | 市民生活部 | 住民情報課 | H3-3 | マイナンバーカード普及促進事業 | 新規 | 採択 | 所管案のとおり | <p>各種行政手続のオンライン申請にマイナンバーカードの活用が見込まれるなか、マイナンバーカードを活用した電子申請により特産品等の商品が当選するキャンペーンを実施し、マイナンバーカードの普及促進を図るものである。</p> <p>本事業の実施により、マイナンバーカードの取得促進と行政手続きのオンライン化の普及拡大につながることから、事業の実施は適当である。</p> <p>ただし、事業の実施に対する意見は右のとおり。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカード未取得者の年代等を分析したうえで、ターゲットに沿った戦略的なPR手法を検討すること。また、そもそものマイナンバーカード取得の必要性についても十分にPRすること。 ・マイナンバーカードの受取方法について、働く世代や学生、子育て世代が受け取りやすい手法を検討すること。 |
| 3 | 30001 | 商工部 | 商工振興課 | C1-1 | 業務効率化支援費補助金 | 新規 | 採択 | 所管案のとおり | <p>市内中小事業者の作業効率化やコスト削減、省力化などの取組みを促進することを目的として、業務効率化の取組みに要する経費の一部を支援するものである。</p> <p>本事業の実施により、経理・労務管理等を中心とした業務の効率化が図られることで、中小事業者の生産性向上や経営安定につながることから、事業の実施は適当である。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・今回の予算方針に掲げるDXの推進に位置づけた事業として整理すること。 ・チャレンジ企業応援補助金と業務効率化支援費補助金の目的、対象事業の違いを説明できるよう整理するとともに、内部管理経費の業務効率化に対する支援の必要性を明確にすること。 |
| 4 | 31001 | 文化観光部 | 観光交流推進室 | A2-2 | 観光地域づくり推進費(アフターコロナにおけるインバウンド復活事業) | 新規 | 採択 | 所管案のとおり | <p>6月10日に解禁された添乗員付きパッケージツアーによる外国人観光客の受入れに伴い、今後のツアー以外の個人観光客の受入れ解禁も視野に入れ、観光復興の要となるインバウンドの効果を高める営業・セールス活動及び情報発信を行うものである。</p> <p>本事業の実施により、新型コロナウイルス感染症で大きな影響を受ける観光業のインバウンド復興に寄与することから事業の実施は適当である。</p> <p>ただし、事業の実施に対する意見は右のとおり。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド受入再開に伴う国の方針等を踏まえて、時期を捉えた7月臨時会で予算計上である旨の理由を整理のうえ説明すること。 ・県や関係機関との役割分担についても十分に説明できるように整理しておくこと。 |

令和4年度事務事業評価(令和4年7月補正予算に係る事前評価)一覧表

| 番号 | 整理番号 | 部局 | 事業担当課 | 個別施策 | 事務事業名 | 新規/拡大 | 会議評価 | | | |
|----|-------|--------|---------|------|---|-------|------|---------|--|---|
| | | | | | | | 評価結果 | 区分 | 評価理由 | 評価会議における主な意見 |
| 5 | 31002 | 文化観光部 | 観光政策課 | A2-1 | 観光資源魅力推進費(長崎さるく・石碑説明板リニューアル) | 新規 | 採択 | 所管案のとおり | QRコードを活用し、スマホやタブレット端末等で建物等の往時の様子などが見ることができるよう、長崎さるく・石碑説明板のリニューアルを行うものである。 本事業の実施により、さるく参加者をはじめ、観光客の満足度の向上や、まちなかの回遊性を高める効果が期待できることから、事業の実施は適当である。 ただし、事業の実施に対する意見は右のとおり。 | ・臨時交付金を活用することから、インバウンド受入も含め、7月臨時会で予算計上する理由を整理すること。 |
| 6 | 31003 | 文化観光部 | 観光政策課 | A2-3 | 観光施設キャッシュレス化推進事業費 | 新規 | 採択 | 所管案のとおり | 観光施設利用者の新型コロナウイルス感染症リスクの低減及び利便性の向上を図るため、観光施設へキャッシュレス決済システム(非接触式)を導入するものである。 事業の実施により、施設利用者の感染リスクの低減が図られるほか、インバウンド受入再開による消費拡大が期待できることから事業の実施は適当である。 ただし、事業の実施に対する意見は右のとおり。 | ・インバウンド受入再開に伴う国の方針(ガイドライン)等を踏まえて、7月臨時会で予算計上する理由を整理すること。 |
| 7 | 32001 | 水産農林部 | 農林振興課 | C3-1 | 農業振興施設整備事業費補助金 地域特産農産物生産高度化支援施設(地域特産農産物出荷体制強化事業:いちご出荷検査レーン) | 新規 | 採択 | 所管案のとおり | JA長崎せいひ東長崎いちごパッケージセンターにおいて、いちご出荷レーンを増設し、農業者の出荷体制強化の取り組みを支援するものである。 本事業の実施により、農業者の出荷調整に係る労力と時間の削減などが図られることで、いちごの品質・出荷量の向上や安定的な出荷につながることから、事業の実施は適当である。 | ・臨時交付金を活用するにあたり、コロナ対応として説明できるようにしておくこと。 |
| 8 | 34001 | まちづくり部 | 公共交通対策室 | E6-2 | 矢上バス停留所整備費補助金 | 新規 | 採択 | 所管案のとおり | 従来からの人口減少に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用者減少に対応するため、東部地区において令和4年10月よりハブ&スポーク型運行を実施する予定であるが、この拠点となる矢上バス停の乗り継ぎ環境整備のため、整備費を補助しようとするもの。 バス路線再編のためのハブ&スポーク型運行の実施や乗り継ぎ環境の整備については、公共交通の存続及び市民の移動を支えるという点で重要であると考えられることから事業の実施は適当である。 | ・ハブ&スポークについて、住民要望や議会等への対応に関する経緯及び市が全額負担する理由なども含め説明できるよう整理すること。 ・今後各拠点でハブ&スポーク型運行を推進していくうえで、東部地区は重要な位置づけとなることから、事業の必要性について十分な整理を行うこと。 ・停留所の設置主体が異なることから、今後の停留所の管理運営について関係各所と事前に協議し整理しておくこと。 ・臨時交付金を活用するにあたり、コロナ対応として説明できるようにしておくこと。 |

令和4年度事務事業評価(令和4年7月補正予算に係る事前評価)一覧表

| 番号 | 整理番号 | 部局 | 事業担当課 | 個別施策 | 事務事業名 | 新規/拡大 | 会議評価 | | | |
|----|-------|--------|-------|------|------------------------------------|-------|------|---------|---|--|
| | | | | | | | 評価結果 | 区分 | 評価理由 | 評価会議における主な意見 |
| 9 | 38001 | 南総合事務所 | 地域福祉課 | A2-1 | 長崎のもぎき恐竜パーク運営費(恐竜広場) | 拡大 | 採択 | 所管案のとおり | <p>次年度以降に「恐竜イルミネーションイベント」を開催するにあたり、恐竜パーク内の水仙の丘にイルミネーションを設置し、LEDが水仙の成長や開花時期、漁業に与える影響や地域住民の意見などを確認するための実証実験を実施するものである。</p> <p>「恐竜イルミネーションイベント」が開催されることで、地域の賑わい創出及び振興が期待できることから、事前の水仙等への影響を調査する本事業(実証実験)の実施は適当である。</p> <p>ただし、事業(実証実験)の実施に対する意見は右のとおり。</p> | <p>・水仙の成長や開花時期の実証実験を行ううえで、実験の有効性などが説明できるよう整理しておくこと。</p> <p>・令和5年度以降の本格実施を見据え、駐車場料金収入などの歳入受入の方策についても検討すること。</p> <p>・予算計上の時期について、理由を説明できるようにしておくこと。</p> <p>※予算計上時期については、別途企画財政部において整理する。</p> |
| 10 | 44001 | 教育委員会 | 生涯学習課 | G2-1 | 長崎のもぎき恐竜パーク運営費(恐竜博物館) 恐竜博物館施設整備事業費 | 拡大 | 採択 | 所管案のとおり | <p>教育普及の質の向上及び誘客による地域経済浮揚を目的として、恐竜博物館の展示物や機能を充実させるとともに、来館が困難な方々を対象にした移動博物館用の標本や資料等を取得するものである。</p> <p>本事業の実施により、ポストコロナ下における地域経済の更なる活性化や南部地区における交流人口の拡大等に寄与することから、事業の実施は適当である。</p> <p>ただし、事業の実施に対する意見は右のとおり。</p> | <p>・事業費の財源として、過疎債を活用できないか検討すること。</p> <p>※予算計上時期については、別途企画財政部において整理する。</p> |